

濃厚接触者について

大阪府におけるオミクロン株の特性を踏まえた濃厚接触者への対応（令和4年3月22日以降）

場所	濃厚接触者の特定		行動制限と待機期間	
	特定者	内容	制限有無	内容
同一世帯家族内	陽性者	<ul style="list-style-type: none"> 陽性者本人が特定 陽性者から対象者に外出自粛等を周知 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 原則7日間待機（8日目解除） 但し、4・5日目に抗原定性検査キット（薬事承認済）で陰性確認後、5日目から解除
事業所等	事業所等	<ul style="list-style-type: none"> 事業所等が特定 事業所等から対象者に外出自粛等を周知 	△	<ul style="list-style-type: none"> 感染者と感染対策を行わずに飲食を共にした者等については、一定期間の外出自粛を含めた感染拡大防止対策を行うことを要請。※ 感染者と接触があったことのみを理由として、出勤を含む外出制限する必要なし。 感染者と接触があった者は、高齢者等との接触や感染リスクの高い行動を控えることを要請。
保育所、幼稚園、学校、児童関連施設	施設（保健所）	<ul style="list-style-type: none"> 施設が特定 施設から対象者に外出自粛等を周知 児童関連施設については、濃厚接触者調査・検査について保健所に相談可 	◎	【園児・児童等】 <ul style="list-style-type: none"> 原則7日間待機（8日目解除） 但し、4・5日目に抗原定性検査キット（薬事承認済）で陰性確認後、5日目から解除（乳幼児は、抗原定性検査キットを用いることは想定されないため、7日間待機）
			○	【職員】 <ul style="list-style-type: none"> 原則7日間（8日目解除） 但し、一定の条件の下で、毎日検査により陰性を確認して出勤可能
ハイリスク施設（高齢者施設、障がい児者施設、入院医療機関）	保健所（医療機関）	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設、障がい児者施設は、保健所が特定 医療機関は、当該医療機関が特定 施設等から対象者に外出自粛等を周知 	◎	【入居者等】 <ul style="list-style-type: none"> 原則7日間（8日目解除） 但し、4・5日目に抗原定性検査キット（薬事承認済）で陰性確認後、5日目から解除
			○	【職員】 <ul style="list-style-type: none"> 原則7日間（8日目解除） 但し、一定の条件の下で、毎日検査により陰性を確認して出勤可能
その他（会食など）	陽性者	<ul style="list-style-type: none"> 陽性者本人が特定 陽性者から対象者に外出自粛等を周知 	◎	<ul style="list-style-type: none"> 原則7日間（8日目解除） 但し、4・5日目に抗原定性検査キット（薬事承認済）で陰性確認後、5日目から解除

※大阪府は全ての業種を社会機能維持者としているので、4・5日目に抗原定性検査キット（薬事承認済）で陰性確認後、5日目から解除

第六波流行期（2月中旬）における療養者数と待機中の濃厚接触者数（推計）について

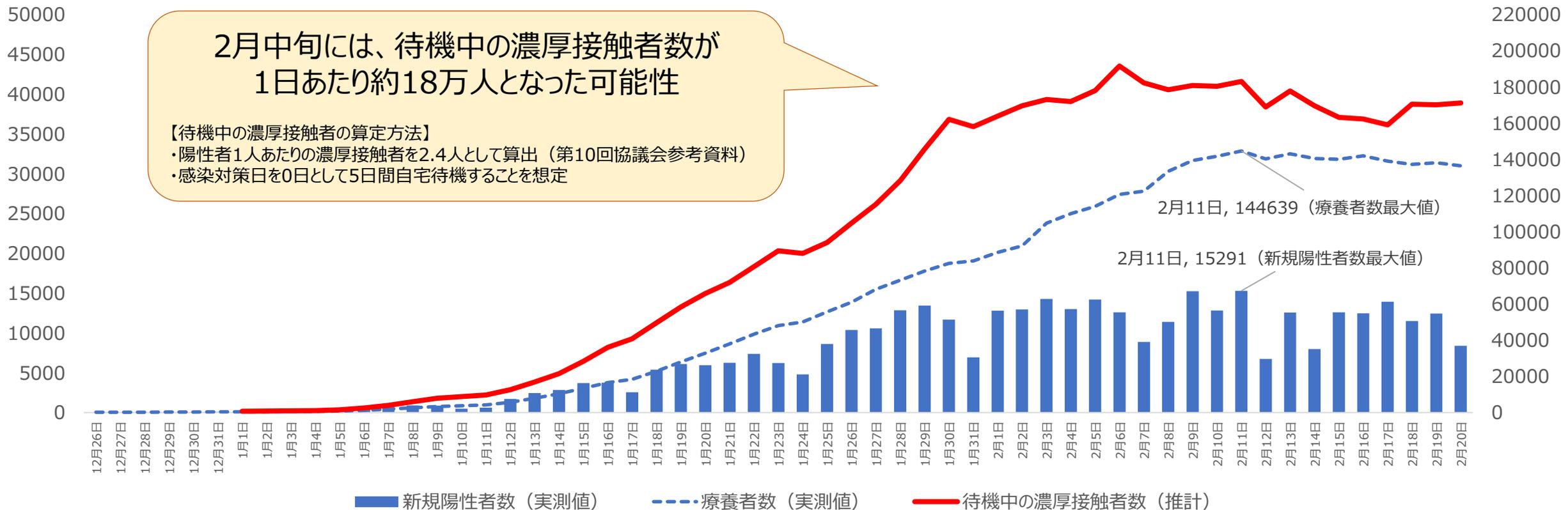
新規陽性者数

療養者数と待機中の濃厚接触者数（推計）

療養者数
待機中の濃厚接触者数（推計）

2月中旬には、待機中の濃厚接触者数が
1日あたり約18万人となった可能性

- 【待機中の濃厚接触者の算定方法】
- ・陽性者1人あたりの濃厚接触者を2.4人として算出（第10回協議会参考資料）
 - ・感染対策日を0日として5日間自宅待機することを想定

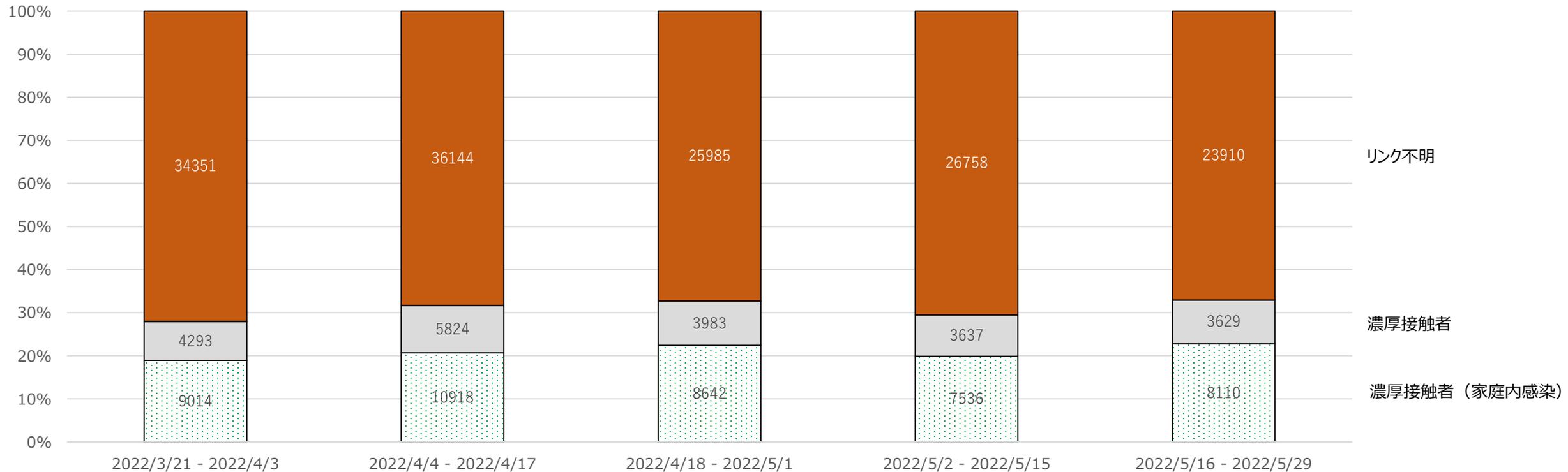


第六波流行期（2月中旬）において、療養者数と待機中の濃厚接触者数（推計）を合わせ、約32万人/日が療養や自宅待機等で外出自粛の対象となった可能性。

【参考】
・大阪府の人口 8,807,279（令和3年推計人口）

新規陽性者の感染経路

◆ 3月中旬以降、家庭内感染が約2割、濃厚接触者が約1割、感染経路不明が約7割で推移。
 (オミクロン株の感染拡大を踏まえ、積極的疫学調査を重点化しているなかで保健所等が聞き取った範囲での分析)



※施設内感染者等はリンク不明に分類されていると推察される。

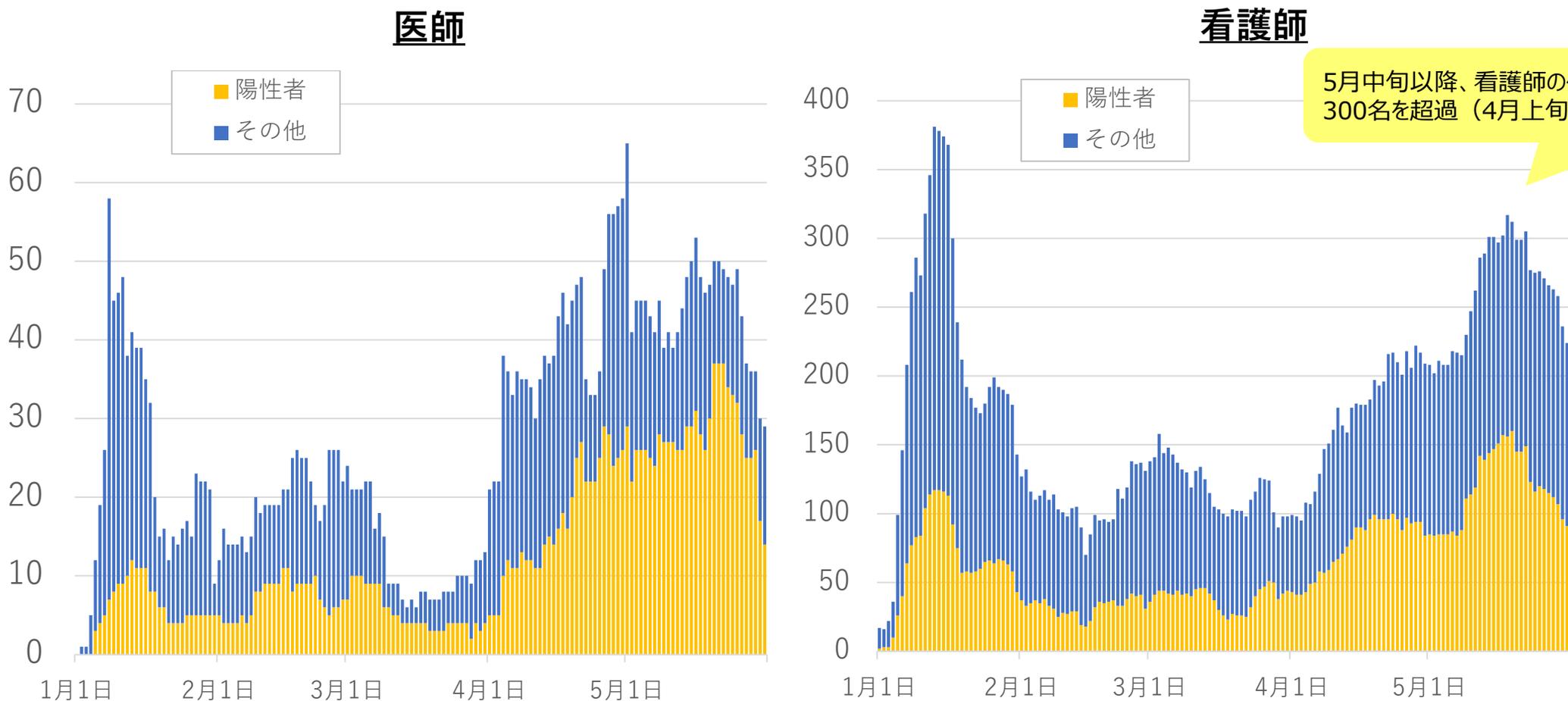
【参考】オミクロン株の潜伏期間と家庭内二次感染率について

- ・曝露から発症するまでの潜伏期間は約5日間、最長14日間とされてきたが、オミクロン株では短縮される傾向にあり、中央値が2.9日、99%が10日までに発症する。
- ・感染曝露から95%、99%が発症するまでの日数はアルファ株ではそれぞれ8.7日、11.9日、オミクロン株ではそれぞれ7.1日、9.7日。
- ・オミクロン株の家庭内二次感染率は、従来株、デルタ株と比較して高い可能性 (家庭内二次感染率は31~45%)

【参考】沖縄県の重点医療機関における医師・看護師の休職数

- ◆ 沖縄県では、5月中旬以降、重点医療機関における看護師の休職数が増加し、300名を超過。
(陽性者に加え、濃厚接触者と判定されたり、子どもの自宅待機等により出勤できずに休職した者が含まれる)

図6 重点医療機関における医師、看護師の休職数



※沖縄県の重点医療機関数：27医療機関（令和4年4月20日時点）

第86回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード（令和4年6月1日）資料3-6より抜粋